

令和7年度 公益財団法人大分県スポーツ協会 第3回理事会

日時：令和8年1月16日（金）10時30分～

会場：大分県庁新館14階「大会議室」

理事

出席者 (22名)	山田 雅文 五十川浩司 大久保邦彦 塚田 清隆 牧 和志	吉野賢一郎 井上 正秀 大場 俊二 羽田野明美 三浦 誠二	宮成 康蔵 鵜崎 清貴 加藤 裕三 波津久郁生	足立 典子 衛藤 幸司 岐部 俊哉 姫野 暢之	安東 夏行 大石 祥一 園田 隆洋 藤原 直也
--------------	--	---	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

欠席者 (8名)	麻生 益直 工藤 康志	栗田 泰司 佐保 宏二	相馬 尊重 豊田 正順	荒木 幸治	板井 靖之
-------------	----------------	----------------	----------------	-------	-------

監事

出席者 松本 知行
(1名)

欠席者 伊達 孝明 穴井 哲也
(2名)

議事録作成者 専務理事 吉野賢一郎

資格確認 押田総務部長が出席理事22名で、定数の過半数であることから、本会定款第36条により、本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

押田総務部長が開会のことばを述べた。

2 あいさつ

公益財団法人大分県スポーツ協会山田副会長が、あいさつを述べた。以下あいさつ文。

皆様、おはようございます。大分県教育長の山田でございます。本日は麻生会長が所要により出席が叶いませので私が、御挨拶申し上げます。

本日は、第3回理事会を開催しましたところ、年始の大変お忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素から本会の諸事業の推進並びに本県のスポーツ振興に格別の御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、後ほど詳細な報告がありますが、昨年の滋賀国スポでのチーム大分の成績は、天皇杯得点が930点、天皇杯順位は25位と、残念ながら目標の1000点を達成することはできませんでした。その一方で競技別に見ますと、サッカー競技の成年男子・少年女子が共に準優勝し、1競技で112点という大量得点を獲得しました。また、ライフル射撃競技では3種目の優勝など、大分の底力を発揮した種目もございました。関係者の皆様には心から感謝を申し上げます。大変お疲れ様でした。

また、先週末は、国スポ準優勝の柳ヶ浦高校女子サッカー部が見事全国制覇を成し遂げました

し、春高バレーでも、東九州龍谷高校が惜しくも3位となりましたが、優勝した金蘭会高校とフルセットの熱戦を繰り広げ、今年の青森国スポへの大きな弾みとなったところであります。今月31日からは、いよいよ青森国スポ冬季大会がスタートします。昨年は、スキー競技で成田選手が32年振りに得点を挙げたことは記憶に新しいところであります。本日の午後、結団壮行式を予定しておりますが、今年も先陣を切ってチーム大分に勢いをもたらしてくれることを期待しています。

今年度も残りわずかとなりましたが、スポーツ少年団駅伝交流大会など、大きな行事も控えています。引き続き御協力を賜りますようお願いいたしますと共に、この後の議事につきましても、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

3 議長選出

以下、進行より議長及び議事録署名について説明がなされた。

理事会規程第6条で、「理事会の議長は、会長がこれにあたる」となっておりますが、会長は他の用務と重なり出席が叶いませんので、定款第35条により、山田副会長に議長をお願いします。

また、議事録署名につきましては、定款第37条に「出席した代表理事及び監事は、議事録に記名押印する」となっておりますので、よろしくお願いいたします。

以下、議長による進行。

4 報告事項

以下の報告事項について、宮成常務理事兼事務局長より説明がなされた。

- (1) 令和7年度事業報告（業務執行状況の報告）について
- (2) 第79回国民スポーツ大会大分県代表団について
- (3) 第79回国民スポーツ大会成績について
- (4) 第45回九州ブロック大会冬季大会大分県代表団について
- (5) 第45回九州ブロック大会冬季大会成績について
- (6) 第80回国民スポーツ大会冬季大会大分県代表団について
- (7) 全国表彰受賞者について
- (8) 各種大会成績について（令和7年度第2回理事会以降）
- (9) 加盟団体分担金等検討委員会について
- (10) 寄附金受入に伴う感謝状贈呈について

【(1) 令和7年度事業報告（業務執行状況の報告）について】

それでは、業務執行状況を兼ねて、事業報告をいたします。

レジュメ1ページを御覧ください。No. 1 4月9日に加盟競技団体理事長・事務局長会議を開催しました。今年度から新たに理事長も参加する会議とし、本会の運営方針や日本スポーツ協会施策の情報提供等を行いました。No. 2 4月10日に第1回九州地区スポーツ協会連絡協議会が長崎県で開催され、各県の課題や今後の方向性について協議いたしました。

2ページを御覧ください。No. 11 5月2日に大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会を開催し、基本方針、事業計画等を審議いたしました。その下、No. 14 5月9日に、令和6年度の会計監査を行いました。本会監事に事業及び予算執行状況を説明し、通帳等の関係書

類を提示し、監査を受けました。

3 ページを御覧ください。No. 29 5月30日に第1回スポーツ医科学委員会を開催し、スポーツ医科学の啓発に向けた事業計画を審議いたしました。No. 34 6月14日に大分県スポーツ指導者研修会を開催し、大阪体育大学の土屋教授と、牧アスレティックトレーナーによる講演を行いました。

4 ページを御覧ください。No. 43 7月6日にスポーツ少年団各種交流大会等参加者激励会を開催し、全国・九州のスポーツ少年大会等に参加する少年団員を激励しました。

5 ページを御覧ください。No. 52 8月1日から3日に九州ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会を本県で開催しました。九州各県から283名が参加し、ミニバスケットボールを通じた交流が行われました。No. 60 8月22日から24日に、九州ブロック大会の後期競技が長崎県で開催され、麻生会長にも大会応援に御対応いただきました。

6 ページを御覧ください。No. 76、77、78 9月17日に第79回国民スポーツ大会大分県代表団結団壮行式を開催しました。佐藤知事を御来賓にお迎えし、監督・選手256名が参加しました。また、同日に監督会議とアンチ・ドーピング研修会も実施しました。

7 ページを御覧ください。No. 82 9月28日から10月8日にかけて、滋賀県において第79回国民スポーツ大会が開催されました。目標には届きませんでしたが、天皇杯得点930点を獲得し、天皇杯順位は25位でございました。No. 90 10月25日に令和7年度ガバナンス研修会を開催し、日本スポーツ仲裁機構の専門員で弁護士の中村様に御講演いただきました。近年のスポーツ仲裁における紛争事例を踏まえて、具体的な内容を御講演いただきました。

8 ページを御覧ください。No. 93 11月3日に大分県スポーツ少年団指導者・スタッフ研修会を開催し、指導者を対象にアンガーマネジメントの視点から「子どもたちの力を引き出す指導法について」の演題で山村様に御講演いただきました。No. 95 11月5日に国スポカンファレンス2025を開催しました。滋賀国スポに参加した競技団体関係者が一同に介し、成果と課題について確認しました。また、帝京大学ラグビー部で日本大学史上初の8連覇を達成した岩出前監督に御講演いただき、指導力向上の研鑽を積みました。

9 ページを御覧ください。No. 107 11月22日から23日に大分市のつはる少年自然の家で、大分県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクールを開催しました。団員34名が講義・実技のカリキュラムを受講しました。

10 ページを御覧ください。No. 123 12月13日から14日に総合型クラブの研修事業として、沖縄県で開催された九州ブロッククラブネットワークアクションに参加し、九州各県総合型クラブの最新の取り組み等の情報収集をしました。No. 126 12月18日に第1回加盟団体分担金等検討委員会を開催し、分担金の改定について協議しました。詳細については後ほど御説明いたします。

以上、事業報告でございます。

《山田議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(2) 第79回国民スポーツ大会大分県代表団について】

【(3) 第79回国民スポーツ大会成績について】

【(4) 第45回九州ブロック大会冬季大会大分県代表団について】

【(5) 第45回九州ブロック大会冬季大会成績について】

【(6) 第80回国民スポーツ大会冬季大会大分県代表団について】

それでは、(2) 第79回国民スポーツ大会大分県代表団について、(3) 第79回国民スポーツ大会成績については関連がございますので一括して御報告いたします。

レジュメ12ページをお開きください。滋賀県で開催されました第79回国民スポーツ大会の大分県代表団役員については、麻生益直団長、山田雅文副団長、栗田泰司副団長、吉野賢一郎総監督の他、総務員16名、総勢20名でございました。

13ページを御覧ください。参加人数一覧表には各競技の監督・選手の参加人数を記載しております。表の右下に小さく記載がありますが、本県からは総勢450名の参加でございました。各競技の参加者名簿を、13ページから19ページまで掲載しております。詳細については、後刻御覧ください。なお、参加者名簿につきましては、申込時点の名簿でございます。申込後に変更のあったものについては、19ページの選手及び監督の交代一覧に記載しておりますことを申し添えます。以上が大分県代表団についてでございます。

次に、(3) 第79回国民スポーツ大会成績について御報告いたします。別冊の、わたSHIGA輝く国スポ競技成績の1ページを御覧ください。上段に記載しておりますが、冬季大会が岡山県、群馬県、秋田県で、本大会が滋賀県で開催されました。本県の総合成績は、天皇杯得点930点、天皇杯順位は25位でございました。チーム大分の目標でありました、天皇杯得点1000点に届かず、目標達成は叶いませんでした。

次に、2の都道府県総合成績を御覧ください。総合優勝は開催県である滋賀県、その次に東京都、上位10県には、京都府、大阪府、愛知県、神奈川県など、人口順位10位以内の府県が位置している状況です。

次に、3の九州各県総合成績比較を御覧ください。本県は表にあります通り、一桁順位常連の福岡県、前年に国スポを開催した佐賀県と前々年に国体を開催した鹿児島県に次ぐ、九州第4位の成績でございました。

2ページを御覧下さい。優勝一覧でございます。上段、団体競技では、テニス競技少年男子が3年ぶり2度目の優勝を果たしました。その下は個人優勝の一覧でございます。記載の2競技4種目で優勝致しました。ウエイトリフティング競技、ライフル射撃競技はいずれも初優勝でございました。

3ページには入賞者一覧、4ページから20ページにかけましては、大分県選手団の全成績となっております。詳細につきましては、後刻御覧下さい。

今大会の終了後には、県競技力向上対策本部と合同で結果分析、そして次年度に向けた競技力向上対策を協議しました。また、11月には競技団体強化責任者とのヒアリングを実施したところでございます。来年度開催される青森国スポでは、目標である天皇杯得点1000点を獲得できるよう準備したいと思っております。

続きまして、(4) 第45回九州ブロック大会冬季大会大分県代表団についてと、(5) 第45回九州ブロック大会冬季大会成績については関連がございますので、一括して御報告いたします。

レジュメ20ページを御覧ください。九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技では、井原団長をはじめ、本部役員5名、監督・選手20名で参加いたしました。詳細については記載の通りでございます。

21ページには、大会成績を掲載しております。アイスホッケー競技は、A・B2つに分かれてのリンク戦形式で実施されました。本県成年男子の試合結果は赤枠で囲っております。1日目は、長崎県と対戦し1-6、2日目は熊本県と対戦し、0-12で2敗という結果でございました。最終的な総合順位は7位で、代表権獲得には至りませんでした。なお、22ページには九州各県の代表権獲得一覧を掲載しております。詳細については後刻御覧ください。県内にアイススケートリンクがない中、県外まで強化練習に出向き戦ってくれました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

次に、レジュメ23ページを御覧ください。(6) 第80回国民スポーツ大会冬季大会大分県代

表団について御報告いたします。今月末からは、第80回国民スポーツ大会冬季大会が開催されます。スケート競技は青森県で、スキー競技は青森県と秋田県で開催されます。本県代表団ですが、本部役員を県スキー連盟会長の玉田団長以下、副団長2名、総監督に吉野専務理事、他総務員2名の6名で編成いたします。選手団は、スケート競技で監督1名・選手1名を、スキー競技で監督3名、選手16名で編成いたしました。詳細については後刻御覧ください。なお、本日15時から、冬季大会代表団の結団壮行式を行うこととしております。

以上でございます。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(7) 全国表彰受賞者について】

レジュメ24ページを御覧ください。(7) 全国表彰受賞者について御報告いたします。

まず、①文部科学大臣表彰は、長年にわたり体育・スポーツの振興・発展に功績のありました個人・団体を表彰するものです。生涯スポーツ功労者として、下川逸代様が、また生涯スポーツ優良団体として、NPO法人わさだ夢クラブ、みえスポーツクラブの2団体が表彰されました。

次に、②日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰は、資格取得後15年以上にわたりスポーツの普及振興及び指導者育成等に尽力し、顕著な功績をあげた方々に対する表彰です。指導者の部として高松右門様、スポーツドクターの部として北野正剛様が表彰されました。

最後に、③日本スポーツ協会日本スポーツ少年団顕彰は、長年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者等及び市区町村スポーツ少年団に対する顕彰です。表彰指導者として廣田寧孝様、表彰団として杵築市スポーツ少年団が表彰されております。

改めて全国表彰を受賞されました皆様にお慶びを申し上げますと共に、今後益々の御活躍を御祈念いたします。

以上でございます。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(8) 各種大会成績について（令和7年度第2回理事会以降）】

レジュメ25ページを御覧ください。(8) 各種大会成績について御報告いたします。25ページ上段に記載のとおり、8月25日から1月5日までの期間において、全国大会・国際大会ベスト8以上の成果をあげた本県関係者の記録を掲載しております。なお、国スポについては、別途国スポ成績で報告しておりますので記載はございません。本県の選手が、多くの大会で優勝入賞の活躍をしております。詳細については割愛いたしますが、引き続き、本県関係者の活躍を期待したいと思います。

以上でございます。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

【(9) 加盟団体分担金等検討委員会について】

レジュメ 27 ページを御覧ください。(9) 加盟団体分担金等検討委員会について御報告いたします。

5 月 14 日の第 1 回理事会において、加盟団体分担金等検討委員会の設置について御承認いただきました。それを受け、12 月 18 日に第 1 回検討委員会を開催し、その内容を全加盟団体にお知らせして御意見をいただいた所です。第 2 回検討委員会を、来週 22 日に開催する予定ですが、現時点での途中経過を御報告致します。

この加盟団体分担金は 5 年毎の見直しとなっておりますが、大きな金額の変更はこれまで 10 年毎に実施されてきました。前回の改定が平成 29 年度に、そして今回が令和 9 年度に、次回が令和 19 年度の見込みでございます。改定の 2 年前に検討委員会を開催し、前年度の第 1 回理事会・評議員会で決定したものを、改定の 1 年前には加盟団体に金額をお知らせしております。27 ページの下段には、大分県人口ビジョンのグラフを掲載しておりますが、10 年後には県の人口が 100 万人を割る想定となっております。

レジュメ 28 ページと 29 ページを御覧ください。本会の財務状況及び事業収益等を掲載しております。まず 28 ページ、本会の財務状況を御覧ください。表の左、経常収益がいわゆる収入、経常費用が支出、当期経常増減額がその収支差額でございます。令和 2 年、3 年のコロナ渦を除き、おおよそ 2 億 5 千万から 3 億円の収入でございます。朱書き部分の当期経常増減額ですが、令和 4 年度からはそれまでの黒字を、公益法人の収支相償の観点から、公益事業において支出し、赤字にしている状況でございます。

次に 29 ページを御覧ください。上段の事業収益ですが、記載の 5 つの収益がございます。平成 29 年度には約 1655 万円でしたが、昨年、令和 6 年度には約 1251 万円まで減少しております。中でも朱書きしております、スポーツ安全協会委託事業ですが、令和 8 年度から委託事業が中止され、約 500 万円の事業収益の減が決定しております。中段の自主財源でございますが、先程の事業収益の減を補うため、自主財源の確保に努めて参りました。3 つの自主財源を確保し、平成 29 年度に約 1034 万円でしたが、昨年、令和 6 年度には約 1472 万円まで増加しております。中でも賛助会費については、平成 29 年度に 383 万 5 千円でしたが、令和 6 年度には 866 万円と大幅な増額となりました。一社一社、企業への訪問を重ね、御賛同をいただくことができました。

最後に管理費でございますが、平成 29 年度から上がり続けていましたが、令和 5 年度から令和 6 年度にかけては減少しております。これは、先程御説明しましたスポーツ安全協会の委託事業中止が令和 5 年度に決定し、令和 6 年度からは事業のスクラップはもとより、働き方改革による超過勤務手当の削減、経費節減、更には本会雇用職員の昇給の抑制など、財務改革の取り組みによるものです。

また、これまでも本会は九州各県の中で最も小人数体制で事務局運営をしております。佐賀、宮崎、沖縄県は職員数が 20 名以上、福岡 17 名、鹿児島 12 名、長崎 11 名、熊本県が 9 名で、本県は 8 名でございます。人件費を含む管理費も、九州で最も少ない予算となっております。以上が、本会の財務状況等でございます。

続いてレジュメ 30 ページを御覧ください。第 1 回検討委員会並びに加盟団体アンケートの主な意見・質問等を御報告いたします。第 1 回検討委員会の出席者は記載の通りでございます。事務局からの説明・提案内容ですが、スポーツ安全協会の委託終了で約 500 万円の収入減となることを踏まえ、スポーツ少年団の登録料増額で約 100 万円の収入増、本会の更なる経費節減および自主財源の確保で約 100 万円、加盟団体全体で約 300 万円の増額を御提案させていただきました。

第 1 回検討委員会内での主な意見・質問でございますが、増額について「仕方ない」、人口減少グラフを見ると 10 年毎では間に合わなくなるのではないかと、他県のスポーツ協会はどのように自主財源を確保しているか、分担金の算出方法について他の方法はないかなどの御意見をいただ

きました。

次に、加盟団体アンケートの主な意見・質問等でございますが、様々な御意見をいただきました。競技団体については、提案を受け入れる旨の内容が多くございました。地域スポーツ団体については、趣旨は理解するが事業の見直しや更なる経費節減を行い、分担金の増額については可能な限り抑えて欲しいとの意見がございました。また、県スポーツ協会が各種事業を通じて地域に還元していることが見えにくいいため判別できない、理事会や評議員会で丁寧に説明して欲しいとの意見もいただきました。

来週22日に第2回検討委員会を開催し、協議を進める予定です。3月に開催予定の第4回理事会及び臨時評議員会に新分担金案を御提示できるよう、加盟団体の皆様に繰り返し丁寧に説明をしていきたいと考えています。

以上が加盟分担金改定に向けた協議の経過報告でございます。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

鵜崎理事

少子高齢化のこの時期に赤字が多くなっていますけれども、その中身内訳を見ますとスポーツ少年団事業が急激にマイナスが増えているということが分かります。原因は何でしょうか。

宮成常務理事兼事務局長

令和6年度は、全国スポーツ少年団剣道交流大会が本県での開催ということで、ビックイベントが輪番で回ってきたことによる赤字ということです。全体的に見まして、スポーツ少年団につきましては、登録者数の減が大きな課題となっております。

羽田野理事

スポーツ安全協会からの委託事業費が無くなるということで、加盟団体がそれを負担するという形になるということですが、それぞれの団体が行っている事業の見直しを要求されることはあるのでしょうか。また、事業の査定等はされる予定がありますでしょうか。

宮成常務理事兼事務局長

本会からの補助金の減額等はできるだけしないようにしたいと考えておりますが、今後は本会の補助金事業につきましては、成果や実績を踏まえて必要のない部分はスクラップして新しい方向に舵を切ることも考えております。例を挙げると、現在大きな課題となっている部活動地域展開の受け皿となる総合型地域スポーツクラブなどにもっと予算を割いていくことは現在事務局内でも検討しているところであります。これは一例ですけれども、時代に沿って補助金の在り方を変えていくことは我々も検討しています。

足立理事

加盟分担金改定についてアンケートをいただきまして、資料を本連盟の理事で検討した際に、項目で不明な点がありました。29ページにあります、事業収益の受取負担金というのはどういったものでしょうか。

宮成常務理事兼事務局長

各事業を行ったときに右から左に出るような、一度いただいたお金を、日本スポーツ協会等にあげるといったものであって、そういったお金を受取負担金として計上しております。

足立理事

28ページの法人会計ですが、令和6年度は、他の事業が赤字になっても法人会計は黒字となっていますが、法人会計というものはどういったものなのでしょうか。

宮成常務理事兼事務局長

法人会計は、事務局運営に係る経費ですが、令和6年度は超過勤務手当などの人件費を削減し、逆に黒字になったということでもあります。

足立理事

事務局内で努力された結果ということですね。わかりました。

大分県スポーツ協会はスポーツの振興が主な事業であると思います。武術太極拳は、国スポの正式競技ではないので色々な面で申し訳ないのですが、国民総スポーツという時代の流れや超高齢社会の中で、武術太極拳も担える部分があるのではないかと考えています。加盟分担金の値上げについても仕方ないと思いますが、色々な大会に参加し成果を上げる以外にも、武術太極拳も生涯スポーツ、健康長寿のために支えていくというところでお役に立ちたいと思っています。負担金を上げるに当たって、そういった視点やスポーツの意義についての説明などがあると、私たちも会員に説明がしやすいという意見がありましたので、よろしくお願いいたします。

宮成常務理事兼事務局長

ありがとうございます。おっしゃる通りで、我々としまして国民スポーツ大会をトップスポーツの目指すところと置いてしまいましたが、スポーツ少年団から高齢者まで幅広くスポーツの振興を担っていきたいと思っていますので、貴重な御意見大変ありがとうございました。

山田議長

スポーツ協会は大変厳しい運営を迫られており、色々な工夫を凝らしながら経費節減に努めております。各団体厳しい運営状況であり、そういった中での分担金見直しは申し訳ない面があります。先ほどお話しがありましたが、事業自体を1つ1つ見直していく必要があると思います。世の中、物価や人件費など全てが値上がりする中で、例えば大会参加料などの見直しの余地があるのであれば、それぞれの収支を改善することで補助金の見直しにも繋がるのではないかと思います。すべての団体が色々な形で見直しが必要なのではないかなと思いますので、御協力お願いします。

また、賛助会費につきましても、スポーツ協会事務局が一生懸命企業を回り、年々増えております。企業にしてみれば広告宣伝費になり、寄付をすることで節税対策になる面もあります。広告宣伝費なので、企業のPRに繋がっていくことが大事になっていくと思いますので、協賛企業の露出を多くすることが大切だと思います。企業側から見ると、協賛したがPRに役立っていないと思われるかと、賛助会費も集まりにくくなりますので、そういった工夫も必要になると思います。そういったことも含め、あらゆる努力を行っていきたいと思いますので、御理解御協力をお願いいたします。

《その後、質疑無し》

【(10) 寄附金受入に伴う感謝状贈呈について】

レジュメ31ページを御覧ください。(10) 寄附金受入に伴う感謝状贈呈について御報告いたします。

まず、下段記載の表彰規程第6条で、「本会の運営並びに事業の推進に功績のあった個人及び団体に感謝状を贈ることができる」とございます。今回、感謝状贈呈に関する内規の(2)本会に対して一定額を超える額を寄附した団体がありましたので、内規に基づき理事会で御報告するものです。なお、一定額とは20万円を基準としています。

上段に戻りまして、(1)一般財団法人青少年交流振興協会様です。寄附額は20万円でございます。同協会は、城島高原ゴルフクラブ所属のプロゴルファーである鈴木規夫様が理事長を務めており、毎年御寄附をいただいております。概要については記載しておりますので御覧ください。本年は、11月8日に「第23回エンジョイゴルフin大分」が、別府市の城島高原ゴルフクラブで開催され、その益金の一部を御寄附いただきました。前日の夕食会において寄附金贈呈式が行われ、本会から麻生会長が出席し、感謝状を贈呈いたしました。

次に(2)明治安田生命保険相互会社大分支社様です。寄附額は91万3100円で、「私の地元応援募金」として従業員の皆様からの募金と、会社様からの拠出を上乘せして行う募金となっております。本日、理事会終了後に行います寄附金贈呈式の中で、山田副会長より感謝状の贈呈を行う予定としております。

次に、賛助会員におけるプラチナパートナー及びゴールドパートナー12社でございます。レジュメの裏面を御覧ください。50万円以上のプラチナパートナーが、株式会社豊後木材市場様、株式会社にゃんぴいす様、名鉄観光サービス株式会社大分支店様でございます。20万円以上のゴールドパートナーが、麻生整形外科クリニック様、大場整形外科様、角栄建設工業株式会社様、株式会社スズキ様、八鹿酒造株式会社様、スマイスセレソングループ様、明治安田生命保険相互会社大分支社様、株式会社西石油グループ様、そしてもう1社は企業名を非公表でゴールドパートナーに御賛同いただいております。なお、全12社の皆様については、2月のスポーツ協会表彰式で感謝状を贈呈する予定でございます。

以上でございます。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

5 議事

以下の議案について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

議案1 令和7年度補正予算について

議案2 令和7年度大分県スポーツ協会表彰について

議案3 評議員会の開催について(3月の臨時評議員会)

【議案1 令和7年度補正予算について】

それでは、令和7年度補正予算(案)について御説明いたします。レジュメ32ページからになります。本会の会計は、公益法人会計として、3つの事業会計と事務局運営に係る法人会計の4会計からなっています。それぞれの会計ごとの補正予算(案)は、33ページから36ページにかけて詳細を記載していますが、わかりやすくするために、A3概要版縦を使って説明させていただきます。恐れ入りますが、レジュメの方向を変えて御覧ください。表の両端の小さな数字は行数を示しています。補正額の欄の白三角は、当初予算からのマイナスを示しています。この補正予算については、例年12月までの実施事業を踏まえて補正するものでございます。

まず、2行目から46行目に記載している経常収益いわゆる収入ですが、大科目で説明いたします。4行目の受取会費は、当初予算から94万円増の1819万9千円です。これは、9行目

の受取賛助会員費の増によるものです。10行目の事業収益は、当初予算から14万7千円増の、1349万2千円で、主に22行目の九州ブロックスポーツ少年大会、その下23行目の大分県スポーツ指導者研修会等の参加者数増によるものです。27行目の受取補助金等は、当初予算から3万7千円増の2億9109万6千円です。37行目の受取寄付金は、当初予算から10万3千円減の636万7千円です。以上の金額を合計したものが、46行目の経常収益計で、当初予算から103万8千円増の、3億2974万7千円となります。

次に47行目の経常費用いわゆる支出の部でございます。支出は、公益目的事業ごとにまとめておりますので、それぞれ事業毎に説明いたします。

48行目の①大分県スポーツ振興事業では補正はございません。

52行目の②大分県スポーツ少年団事業は、当初予算から11万7千円減の730万4千円で、これは主に53行目と54行目の大会費や講習会・研修会費に係る経費の減でございます。

59行目の③大分県スポーツ普及・表彰事業は、当初予算から18万5千円減の878万7千円で、これは主に経費節減による使用料等の減によるものでございます。

68行目の④法人会計・管理費は、当初予算から1万1千円減の643万8千円でございます。管理費については、引き続き業務の効率化等に取り組んで参りたいと思います。

75行目の当期経常増減額計は、当初21万5千円の赤字予算でございましたが、補正額93万2千円の増で、補正後予算額が71万7千円の黒字の見通しとなっております。項目毎の細かな増減はございますが、当初予算から受取賛助会員費が94万円増額したことによって、71万7千円増の補正予算となっております。

以上で令和7年度補正予算（案）の説明を終わります。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《山田議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

【議案2 令和7年度大分県スポーツ協会表彰について】

それでは、令和7年度大分県スポーツ協会表彰について、御説明いたします。レジュメは37ページからとなります。記載の通り、4つの表彰区分で表彰者を選定しております。なお、表彰規程については50ページから53ページに掲載しておりますので御確認ください。規程に基づき加盟団体等に推薦依頼を行うと共に、事務局において対象者の選定を実施した結果を説明します。

レジュメ38ページを御覧ください。スポーツ功労賞の候補者です。この賞は、各分野での長年の功績を讃えるものです。（1）加盟競技団体推薦の6名、（2）地域体育・スポーツ団体推薦の1名及び3団体、（3）スポーツ医科学委員会関係団体推薦の5名でございます。候補者の氏名や推薦理由は、記載の通りでございます。全ての候補者が受賞資格を満たしており、スポーツ功労賞の受賞者として御提案いたします。

次に、39ページを御覧ください。スポーツ優秀賞の候補者です。（1）選手部門は、全国的大会での優勝、国際大会への日本代表としての出場、日本記録を更新した選手・チームが対象です。記載の通り、加盟競技団体から20の個人・団体の推薦がございました。40ページをお開きください。（2）指導者部門は、本県在住で本県に活動拠点があり、活動実績を5年以上有している

者の中から、全国的大会での優勝や継続して全国トップレベルの成績をあげた指導者が対象となります。本年は、記載の３名の指導者が対象となります。（３）競技団体部門は、国民スポーツ大会で競技別総合順位３位以内の成績を収めた競技団体が対象です。今回は記載の通り、２団体が対象となります。以上、スポーツ優秀賞３部門の全ての候補者が、受賞資格を満たしており、スポーツ優秀賞の受賞者として御提案いたします。

次に、４１ページから４９ページに記載しております、スポーツ奨励賞の候補者です。この賞は、中学生は全国中学校体育大会、高校生は全国高等学校総合体育大会で８位以内に入賞した生徒が対象です。４１ページを御覧ください。上段は大分県中学校体育連盟からの推薦による候補者の学校別人数一覧でございます。今回、３７名が推薦されました。レジュメ４２、４３ページに詳細を掲載しております。４１ページ中段、大分県高等学校体育連盟からの推薦による候補者の学校別人数一覧でございます。今回、１３０名が推薦されました。レジュメ４４ページから４８ページに詳細を掲載しております。４１ページ下段、大分県高等学校野球連盟からの推薦による候補者の学校別人数一覧でございます。今回、１８名が推薦されました。４９ページに詳細を掲載しております。いずれも、大会記録と照合し、全て基準をクリアしておりますので、全ての候補者を、スポーツ奨励賞の受賞者として御提案します。

次に、レジュメ４０ページにお戻りください。特別表彰です。（１）の国際大会特別賞は、日本代表として国際大会に出場しメダルを獲得した選手及び指導者を対象としております。記載の３名が対象でございます。（２）の国民スポーツ大会特別賞、（３）会長特別賞については該当者なしでございます。

以上を、今年度の大分県スポーツ協会表彰として御提案いたします。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

《山田議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《山田議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

御承認ありがとうございました。なお、理事の皆様には２月１９日（木）１５時からレンブラントホテル大分にて開催されます、スポーツ協会表彰式の御案内をお送りいたします。御都合がございましたら、是非御出席をお願いいたします。

【議案３ 評議員会の開催について】

評議員会の開催について御説明いたします。レジュメ５４ページになります。

まず、評議員会の開催に係る規定について説明いたします。中段に記載の通り、本会定款第２０条で、評議員会は定時評議員会及び臨時評議員会の２種とする。３ 臨時評議員会は、毎事業年度終了前２箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。併せて、第２１条に評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集するとなっております。この定款の規定に基づき、評議員会の開催については、理事会の決議が必要となるものです。上段の（１）～（３）に記載のとおり、評議員会を開催することについて御提案申し上げます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

《山田議長が上記のことについて、議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《山田議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

6. その他

以下の内容について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

(1) 令和7年度賛助会加入状況について

レジュメ55ページを御覧ください。令和7年度賛助会加入状況についてです。

12月24日時点で、賛助会費合計944万円となり、過去最高額の賛助会費となりました。増額の要因でございますが、中期経営計画に基づき、パートナー会員制度を導入した成果が大きな要因でございます。下段に令和元年度からの賛助会加入状況を記載しております。本会の厳しい財政状況を考えますと、引き続き賛助会員の新規獲得に取り組み、中期経営計画でお示した、令和9年度に1000万円を目指して取り組んで参ります。理事の皆様にも、賛助会の加入をお願いすると共に、賛助会の拡充に向けて、引き続き御協力をお願いいたします。

その他の説明は、以上でございます。

《山田議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

7 閉会のことば

押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和8年1月16日

副会長 山田 雅文

監事 松本 知行